

宝塚市協働のまちづくり促進委員会 協働のマニュアル策定部会(第10回・第2期第4回) 会議録	
開催日時	平成28年9月16日(金) 18:30~20:30
開催場所	宝塚市役所3階 特別会議室
次 第	1 開 会 2 議事録 協働のマニュアル策定部会(第9回・第2期第3回)議事録 3 議 事 マニュアルの具体的内容について 4 その他 5 閉 会
出席委員	久委員長、飯室委員、石谷委員、加藤委員、熊澤委員、古村委員、高松委員、中山委員、檜垣委員、久米委員、田中委員
開催形態	公開(傍聴人1)

1 開会

第10回・第2期第4回宝塚市協働のまちづくり促進委員会協働のマニュアル策定部会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は8人、欠席者は4人であり、過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること及び傍聴希望者は1名であることを報告した。

2 議事録

協働のマニュアル策定部会(第9回・第2期第3回)議事録については、修正等の意見がなく、ホームページに掲載することを委員が了承した。

3 議事

(1) マニュアルの具体的内容について

マニュアルの具体的内容について、事務局より、『宝塚市協働の指針』策定に向けて行ったワークショップでの意見及び当委員会で発表された協働の事例資料について、概要の説明を行った。

ア【会長意見】何か意見はあるか。事例集にどのような事例をいれたらよいか議論していかれたらと思う。

イ 平成28年10月15日(土)、23日(日)に開催予定の宝塚市協働の指針市民説明会で取り上げられる「一緒にプロジェクト」の事例も盛り込んでどうか。

ウ 協働の事例ということであるが、どことどことの協働なのかを明確にし、整理して示していく必要があると思う。

エ【会長意見】ポイントを絞って読みやすくすることが大切である。レイアウトや内

容も重要である。生きがいしごとサポートセンターが発行した『ハタラクをつくる』の冊子は良い事例である。

オ 文章ばかりよりは写真をたくさん盛り込んでいく方が良いと思う。

カ 協働することを誰が声を上げ、呼びかけ、コーディネートしたのか等を共通項目として取り上げたらよいのではないか。また、なぜ、地域とつながることができたのか、実態を示すことが大事である。書き手がヒアリングすることも良いのではと思う。

キ 今回の資料である事例一覧は、スタートから経過まですべて詳細に記載されているので、事例集を作成する際にはポイントを絞って、掲載していただけたらと思う。

ク 手に取って見てもらえるようなわかりやすいストーリーにしておかなければならないと思う。

ケ【会長意見】わかりやすいキャッチフレーズがあるとわかりやすいのでは。八尾市でのキャッチフレーズの例として、「金があれば金に頼る（つながりは生まれぬ）、金がなければ人や知恵に頼る（つながりが生まれる）」というものがあった。また、「まちづくりは木と同じ。枝葉がなければ大きくならない」と言われた方もいる。このような名言、格言もコラムとして取り入れたら面白いのではないか。

コ 「協働」は誰にでもできるんだということを表現できたら良いと思う。

サ【会長意見】事例のストーリーを掲載し、最後に解説できたら良いのではないか。

シ 良い事例として、市内のアトム110番の子ども見守り活動がある。見守り活動のツールとして、鉄腕アトムのたすき掛けやステッカー、看板を使用しているが、手塚プロが地域活動にキャラクター使用許可を出したことの意義は大きい。これも市民と事業者との協働の一つであると思う。

ス 子どもの安全・安心を守るツールとして、アニメキャラクターを使用していることは全国的にもあまりないことだと思う。

セ 逆瀬台地区は、高低差が約100メートルもあるのにも関わらず、避難所は高台に設定されている。住民からは、災害時どのように避難するのかという不満の声があった。そのため、平成25年度からは、災害時に宝塚ゴルフ倶楽部を一時避難所として開放してほしいという要望をすることになった。いろんな経緯があったが、最終的には、行政も協力し、平成26年11月に宝塚ゴルフ倶楽部と協定書を締結することができた。毎年11月に避難訓練を行っているが、宝塚ゴルフクラブでの避難訓練に約260名の住民が参加している。また、宝塚ゴルフ倶楽部のフェンスに災害時の緊急避難用出入口を、社協から補助金をもらって作ってもらった。宝塚ゴルフ倶楽部は積極的に地域貢献している。

ソ【会長意見】地域が発信し、ゴルフ倶楽部が要望を受け入れたのは協働の良い事例である。ここでは、「人と人とのつながり」、「1回であきらめてはいけない」ということがキーワードになると思う。他に良い事例はあるか。

タ 「放課後遊ぼう会」の活動は、ぜひ事例集に入れてほしい。手分けをして作業を行う場合、いくつかのパーツを1つにまとめるのは、大変な労力がかかる。そのため、表現や写真アングルなどの共通事項は、あらかじめ決めておく必要がある。

チ 中山台の事例も取り上げたら良いと思う。

ツ【会長意見】「読み物」にするのか、「資料」にするのかによって、表現の仕方など大きく変わってくる。また、当事者ではなく、第三者がまとめる方が良いと思う。

いろいろなアイデア、意見をいただいたので、まとめあげていく議論は、少人数の作業班にするか。どうするか。完成時期としてはどのくらいを事務局は想定しているのか。→事務局より、今年度中に完成できれば良いが、まず優先すべきは、仕組みづくり検討部会で作成予定の「まち協ガイドライン」であることを伝えた。

テ【会長意見】とりあえず、現時点として、参考事例の1「北雲雀きずきの森活動」、6「放課後遊ぼう会」、8「緑化環境対策事業」、長尾の「一緒にプロジェクト」の取組、逆瀬台地区の宝塚ゴルフ倶楽部との協働について、ヒアリングを行うということで良いか。構成については、『ハタラクをつくる』を参考に、①事例紹介、②前書き、③まとめが良いのではないか。また、ポイントとして、文章は短く、わかりやすいことが挙げられる。また、作業班メンバーについては、この場ではなかなか挙手しづらいかと思うので、別途、事務局よりお願いするというでいいか。→委員了承

4 その他

ア 事務局より、平成28年10月15日（土）、23日（日）に開催予定の「宝塚市協働の指針市民説明会」のポスター及びチラシが完成した旨、報告を行うとともに地域の中でPRをしていただきたい旨、依頼を行った。

5 閉会